

2023年度

試験問題

問題 1 ~ 問題 47

【問題1】鉄筋コンクリート構造に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 鉄筋コンクリート構造は、鉄筋とコンクリートの長所を生かすように合理的に組み合わせた構造で、マンションでは、最も一般的な構造である。
2. 鉄筋コンクリートのラーメン構造は、柱と梁と壁で骨組みを構成する構造である。
3. 鉄筋コンクリートのプレキャストコンクリート構造は、現場ですぐに組み立てられるように、工場などであらかじめ部材を成形するので、外部足場などの仮設資材を大幅に削減することができる。
4. 鉄筋コンクリートの壁式構造は、壁（耐力壁）と床（床スラブ）で構成される構造で、室内空間の有効利用に適している。

【問題2】コンクリートの材料と特性に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. コンクリート容積の約 70%を骨材が占めており、コンクリートの特性に大きな影響を及ぼしている。
2. コンクリートは、引張りに強く、圧縮に弱い性質を持っている。
3. コンクリートは、元来強アルカリ性の性質を持ち、竣工時で pH12~13 程度のため、鉄筋を腐食から保護している。
4. コンクリートと鉄筋は、線膨張係数がほぼ等しいため相性がよい。

【問題3】外装用建築用仕上塗材の種類に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

1. 可とう形外装薄塗材Eで砂壁状に吹付け工法で仕上げるためには、主材の所要量を 0.1 kg/m^2 以上2回塗りとする。
2. 外装厚塗材Eで凹凸状にローラー塗り工法で仕上げるためには、主材の所要量を 1.0 kg/m^2 以上2回塗りとする。
3. 複層塗材Eでゆず肌状にローラー塗り工法で仕上げるためには、主材の所要量を 1.0 kg/m^2 以上2回塗りとする。
4. 可とう形改修塗材Eで平坦状にローラー塗り工法で仕上げるためには、主材の所要量を 0.8 kg/m^2 以上2回塗りとする。

【問題4】屋上防水に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. アスファルト防水熱工法は、施工に際して作業工程が多く手間がかかる。
2. 合成高分子系シート防水は、接着剤若しくは機械的固定によるため、火を使用しなくてもよい。
3. ステンレスシート防水は、溶接によって接合部を一体化するため、完全に水密的な防水層を作り上げることができる。
4. 塗膜防水は、複雑な形状部分には適さない工法である。

【問題5】マンションにおける建築環境に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 子供の飛び跳ねなどの固体伝搬騒音は、軽量床衝撃音である。
2. 外部からの騒音対策として、引違いアルミサッシの内側に内窓を設置し、二重サッシにして気密性を高め、遮音効果を上げた。
3. 物体の中を熱が伝わることを熱伝導というが、大理石と木材では、大理石の方が熱が伝わりやすい。
4. マンションにおいて、吹付石綿が使われている可能性のある場所に、ポンプ室、エレベーター機械室、電気室などがある。

【問題6】マンションの給水設備に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

1. 直結給水方式は、配水管の水圧が受水槽で開放されるため、配水管の水圧を有効に利用することができない。
2. 受水槽方式は、災害時など、停電によりポンプが使用できない時でも受水槽に貯留されている水を活用することができる。
3. 受水槽を1階に設置する場合の標準設計震度は、耐震クラスAが採用されており設計震度（水平）は0.5以上である。
4. マンションの受水槽容量は、マンション全体の1日使用量の5分の1程度とし、高置水槽容量は、1日使用量の10分の1程度とする。

【問題7】マンションのインターネット設備とCATV受信設備に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

1. 一般的な電話回線を利用して、インターネットに接続する方式をVDSL方式という。
2. 住棟引き込みまでを光ケーブルとし、光アクセスシステムを介し住棟内を既存の電話回線に変換する方式をADSL方式という。
3. 光ケーブルを各住戸まで引く方式をFTTH方式という。
4. CATV受信設備の主なサービスは、一般テレビ放送の無料配信、有料テレビ、音楽・映画の配信などであるが、インターネットの接続サービスは含まれていない。

【問題8】防災設備の自動火災報知設備に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 差動式熱感知器は、感知器周囲の温度が一定温度になると作動する。
2. 光電式煙感知器は、内部に煙が入ることによってスイッチが入る。
3. ガス漏れ警報器の検知器は、出入口、換気口付近には設置しないようにする。
4. ガス漏れ警報器の検知器の取付け高さは、都市ガスでは天井下30cm以内とし、プロパンガス(LPG)では、床上30cm以内とする。

--

【問題 9】マンションのエレベーターに関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 地震時に地震計で初期微動（P 波）や主要動（S 波）を感知して、自動的にエレベーターを最寄り階に着床させる機能を地震時管制運転という。
2. 停電時管制運転とは、停電検知後、エレベーターに装備されたバッテリーに切り替えて自動低速運転とし、最寄り階に停止する機能である。
3. 戸が開いている時にエレベーターの走行を停止させる装置を戸開走行保護装置といい、平成 21 年 9 月より新築建物には設置が義務付けられている。
4. マンションのエレベーターの台数や定員は、通勤・通学が重なる朝の利用者数を基準としている。

【問題 10】建築基準法に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

1. 住宅の居室には、採光のための窓その他の開口部を設け、その採光に有効な部分の面積は、その居室の床面積に対して、20分の1以上としなければならない。
2. 高さ 10m を超える建築物には、原則として有効に避雷針を設けなければならない。
3. 共用廊下の片側に居室がある共同住宅で、住戸の床面積の合計が 100 m²を超える階は、共用廊下の幅を 1.2m 以上としなければならない。
4. 2 階以上の階にあるバルコニーには、安全上必要な高さが 1.0m 以上の手すり壁、さく又は金網を設けなければならない。

【問題 1 1】 次回実施の大規模修繕工事の資金に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 大規模修繕工事で修繕積立金が不足することが予測されたため、一時金徴収を総会で決議した。
2. 新築時からの修繕積立金の積立方式が均等積立方式だったものを段階増額方式に変更することはできない。
3. 共用排水立て管の継手部に接続する部分的な専有部分の排水管工事費用を、修繕積立金から支出することとした。
4. 大規模修繕工事のための劣化調査の費用を修繕積立金から支出することとした。

【問題 1 2】 マンションの維持保全に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. マンションの維持保全の目的としては、財産保全、居住環境保全、機能保全などが挙げられる。
2. 建築基準法第 8 条の維持保全の対象は、敷地及び構造であり建築設備は、含まれない。
3. 特定行政庁は、建築基準法令などに違反した建築物の管理者等に対して、その工事の停止を命じ、又は相当の猶予期間を付けて、その建築物の除却、修繕等の必要な措置を命ずることができる。
4. 特定行政庁は、マンションの敷地、構造又は建築設備について、損傷、腐食等の劣化が生じ、放置すれば保安上危険と認められる場合には、そのマンション又はその敷地の管理者に対して、必要な指導及び助言をすることができる。

【問題 1 3】 鉄筋コンクリートの劣化現象に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. コンクリートのひび割れとは、打設時点では一体であった部材に、温度変化による伸縮や大きな応力が作用した場合などに生じるコンクリートの部分的な破壊現象をいう。
2. コンクリートの中性化とは、コンクリートが空気中の炭酸ガスなどの作用によって、酸性を失っていく現象をいう。
3. 鉄筋腐食とは、コンクリートの中性化やひび割れ、漏洩電流などにより鉄筋が発錆する現象をいう。
4. コンクリートの表面劣化とは、コンクリートの表面が、使用環境、熱作用、化学作用などによって損傷し、剥離、剥落などを起こす現象をいう。

【問題 1 4】 鉄筋コンクリート構造物におけるコンクリートの品質と構造物の耐久性に関する次の記述のうち、もっとも不適切なものはどれか。

1. コンクリートの水セメント比とは、コンクリート中のセメントに対する水の重量（質量）比である。
2. 水セメント比が小さいコンクリートは、一般的に中性化速度を遅らせ、強度、耐久性、水密性が向上する。
3. 鉄筋のコンクリートかぶり厚さが適正に施工された鉄筋コンクリート構造物は、一般的に耐久性に優れる。
4. 一般的に、コンクリートのスランプ値が大きいほど、流動性が増大するので、優れた品質のコンクリートを打設することができる。

【問題 1 5】 タイル張りに関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 外壁用タイルには磁器質タイルとせつ器質タイルが多く用いられ、陶器質タイルは主に内装に用いられる。
2. 磁器質タイルは、吸水性がほとんどなく、凍害が生じにくい。
3. 斜壁部分のタイル張りに関しては、下地に防水層を施工する機会が多いため、防水材とタイルの付着に関する十分な検討が必要である。
4. タイルの一般呼称で、小口タイルの一枚の大きさは四丁掛タイルより大きい。

【問題 1 6】 塗装面の補修工事に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

1. バルコニーや開放廊下などの天井の塗装を行う場合は、上階床面からの水分の浸透による下階への影響を考慮して防水性のある材料を選択する。
2. 鉄部塗装の下地処理であるケレン処理は、一般的に1種ケレンである。
3. 塗装を避けるべきとされている条件は、一般的に気温5℃以下、湿度85%以上とされている。
4. 補修工事で塗装を塗り重ねる場合は、既存塗装と同等の上塗材であればプライマーなどを塗布する必要はない。

【問題 1 7】マンションの屋上防水改修工事に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 屋上のアスファルト防水保護コンクリート押え工法の改修にはモルタル防水工法が適している。
2. アスファルト防水工法は、アスファルトが積層されて継ぎ目がない防水層を形成するため防水性能が安定している。
3. 合成高分子系ルーフィングシート防水工法は、比較的施工期間が短い、シート接合部の密着性が弱点となる。
4. ウレタン塗膜防水工法は、液状のウレタン防水材を塗布するので連続した防水層を形成するが、防水被膜の厚さを均一にする必要があるため、施工管理が重要となる。

【問題 1 8】マンションに使用されるシーリング材に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. ポリサルファイド系シーリングは、耐候性に優れており、タイル目地や建具回り目地の塗装をしない部分に使用される。
2. シリコン系シーリングは、外壁を汚染する可能性があるため、コンクリート打継ぎ目地への使用は避けるべきである。
3. 変成シリコン系シーリングは、金属製建具回り目地やコンクリート目地、ひび割れ誘発目地など広い範囲の目地に使用される。
4. ポリウレタン系シーリングは、コンクリート打継ぎ目地や収縮目地への適性は良いが、塗装仕上げがある場合には使用されない。

【問題 19】 給排水設備に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 雑排水とは、台所流し、洗面器、浴槽、雨水等の排水である。
2. 給水中の水栓や弁を急に閉じると流れていた水が管内部に衝突してウォーターハンマーと呼ばれる振動や衝撃音が生じることがある。
3. マンションの排水は、高所から低所に流下させる自然流下が一般的である。
4. 専有部分の排水管に設置するトラップは、空気溜りが生じるため二重のトラップを設けてはならない。

【問題 20】 給水設備改修工事に使用される配管材料に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 水道用ポリブテン管は、耐熱性、耐食性に優れ高温でも内圧強度の高い配管である。
2. 水道用ポリエチレン二層管は、柔軟性があり凍結破壊に強いが、傷がつきやすい配管である。
3. 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管は、鋼管に塩化ビニルでコーティングしたものであり、接合はメカニカル接合である。
4. 一般配管用ステンレス鋼管は、通常 SUS304 が使用される。

【問題 2 1】 建物の区分所有等に関する法律及びマンション管理標準指針（国土交通省）に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

1. 大規模修繕工事の実施は、共用部分の形状又は効用の著しい変更を伴わないものであっても、区分所有者及び議決権の各 4 分の 3 以上の多数による集会の決議が必要である。
2. 建物の設置又は保存に瑕疵があったことにより、第三者に損害が生じた場合、その瑕疵が特定の専有部分にあるときでも、その瑕疵は共用部分の設置又は保存にあるものとみなされる。
3. 共用部分に対する各共有者の持分は、その有する専有部分の床面積の割合によるのが原則であり、その床面積は壁その他の区画の中心線で囲まれた部分の水平投影面積による。
4. 専有部分の排水管に関して、上階住戸のスラブ下に施工されている上階住戸が使用する排水管は、共用部分扱いとされる。

【問題 2 2】 マンションの専有部分と共用部分に関する次の記述のうち、マンション標準管理規約によれば、最も不適切なものはどれか。

1. 各住戸の玄関扉の錠及び内部塗装部分は、専有部分である。
2. 各住戸の窓枠及び窓ガラスは、専有部分に含まれない。
3. 給水管は、本管から各住戸の水道メーターまでが共用部分であり、以降の配管は専有部分である。
4. 雑排水管及び汚水管は、立て管が共用部分であり、配管継手は、専有部分である。

【問題 2 3】国土交通省が公表している「長期修繕計画作成ガイドライン」に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 大規模修繕工事は、建物及び設備の性能・機能を新築時以上の水準に改修させることを目的としている。
2. 単棟型のマンションにおける長期修繕計画は、共用部分の修繕工事に伴うものであるが専有部分の工事をその対象に含むこともある。
3. 長期修繕計画における各工事の修繕周期は、マンションの仕様だけでなく、立地条件も考慮しなければならない。
4. 管理組合は、長期修繕計画を管理規約等と併せて、区分所有者等から求めがあれば閲覧できるように保管しなければならない。

【問題 2 4】諸官庁への各種届出に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 石綿除去関係の工事計画届は、施工者が労働基準監督署長に作業開始 1 4 日前までに届け出るとされている。
2. 石綿除去関係の建築物解体等作業届は、施工者が労働基準監督署長に作業開始前までに届け出るとされている。
3. 建築確認申請が必要な工事の場合は、建築主が都道府県知事に着工前に届け出るとされている。
4. 建築関係の機械等設置届は、施工者が労働基準監督署長に着工 3 0 日前までに届け出るとされている。

【問題 2 5】労働安全衛生法の足場に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 事業者は、つり足場、張出し足場又は高さが 3m 以上の構造の足場の組立て、解体又は変更の作業を行う場合、足場の組立て等作業主任者を選任しなければならない。
2. マンションの改修工事に使用する単管足場の使用基準において、建地の間隔は、けた行方向 1.85m 以下、はり間方向 1.5m 以下とされている。
3. 足場における高さ 2m 以上の足場の作業床の幅は、40cm 以上とされている。
4. 作業中に物体が落下し労働者に危険を及ぼすおそれがあるときは、特別な場合を除き高さ 10cm 以上の幅木、メッシュシート、防網等を設けなければならない。

【問題 2 6】騒音規制法及び振動規制法に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 騒音規制法及び振動規制法は、工場及び事業所における事業活動並びに建設工事に伴って発生する騒音、振動について必要な規制を行うとともに、自動車騒音に係る許容限度及び振動について必要な規制を定めることを目的としている。
2. 騒音規制法及び振動規制法の二つの法律において、特定建設作業とは、建設工事として行われる作業のうち、著しい騒音、振動を発生する作業であって政令で定めるものをいう。
3. 振動規制法の対象となる工事として、改修工事におけるハンマードリルを使用する作業も含まれる。
4. 指定地域内で特定建設作業の対象として著しい騒音・振動を発生する作業を行う場合は、作業開始の 7 日前までに市町村長に特定建設作業実施届出書を提出しなければならない。

【問題 27】 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. この法律において「化学物質」とは、人や生態系への有害性が認められる物質として選定されたものをいう。
2. 石綿等は、P R T R制度の対象物質に含まれない。
3. P R T R制度の対象事業者は、常用雇用者数が21人以上の事業者である。
4. S D S制度は、対象製品を他の事業者に譲渡又は提供するすべての事業者が対象である。

【問題 28】 大気汚染防止法に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. この法律において石綿は「一般粉じん」に分類されている。
2. 有害大気汚染物質に該当する可能性のある物質は、亜鉛及びその化合物であり、これらの物質を取り扱う事業者には、大気中への排出又は飛散を抑制する責務が課せられている。
3. この法律で規制している「揮発性有機化合物」のうち、トルエン、ベンゼン、フロン類は溶剤、燃料として幅広く使用されている。
4. 「特定工事」とは、特定粉じん排出等作業を伴う建設工事をいう。

【問題 29】 景観法に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. この法律は、景観計画の策定その他の施策を総合的に講ずることにより、美しく風格のある国土の形成、潤いのある生活環境の創造等活力のある地域社会の実現を図ることを目的としている。
2. 景観行政団体の「指定都市」とは、人口50万人以上の政令で指定された都市である。
3. 景観地区内の工事で認定を受けた場合は、当該工事現場の見やすい場所に認定を受けた旨の表示をしなければならない。
4. 景観計画区域内で建築物の外観を変更する修繕をする場合は、景観行政団体の長に届出が必要であるが、色彩の変更のみの場合であれば届出は不要である。

【問題 30】 建築物の耐震改修の促進に関する法律（以下、「耐震改修促進法」という。）及びマンションの建替え等の円滑化に関する法律に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 耐震改修促進法とは、特定建築物に対して、地震に対する安全性の向上を図る目的で制定された法律であり、平成18年に指定道路に面する分譲マンションも耐震診断を行い報告する義務が一部適用となっている。
2. 平成25年に旧耐震基準により建築されたすべてのマンションについて耐震診断の努力義務が課せられている。
3. 耐震改修計画の認定を受けるためには、既存不適格事項についても適合させなければならない。
4. 耐震性不足の認定を受けたマンションは、区分所有者、議決権及び敷地利用権の持分の価格の5分の4以上の多数決議でマンション及び敷地の売却ができるとされている。

【問題 3 1】住宅の品質確保の促進等に関する法律（以下、本問において品確法という。）及び特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保に関する法律に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 品確法では、既存住宅における瑕疵担保責任の特例が設けられており、売主は売買契約において住宅の構造耐力上主要な部分等について引き渡しから10年間の瑕疵担保責任が義務付けられている。
2. マンションの大規模修繕工事瑕疵担保責任保険の加入は、任意で工事発注者が選択することができる。
3. マンションの大規模修繕工事瑕疵担保責任保険の対象となる部位は、基本的には構造耐力上の主要な部分と雨水の浸入を防止する部分である。
4. 品確法における既存住宅の性能評価では、個別性能項目ごとの性能評価を受けることもできる。

【問題 3 2】廃棄物の処理及び清掃に関する法律において、マンションの改修工事で排出される廃棄物の中で爆発性、毒性、感染性等人体や環境に被害を与えるおそれのある特別管理産業廃棄物に分類されるものは次の記述のうちどれか。

1. 給排水工事における撤去保温材
2. 防水工事における撤去断熱材
3. 外壁工事における塗料洗浄排水
4. 電気工事における電気配線

【問題 3 3】 建設業法に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 公共性のある施設、工作物又は多数の者が利用する施設、工作物については、すべて工事現場ごとに、専任の主任技術者又は監理技術者を置かなければならない。
2. 建設工事を請け負ったすべての建設業者は、工事現場に一定の施工実務経験又は資格を有する者を配置し、施工の管理を行う必要がある。
3. 建設工事の請負契約時の書面の記載事項の中に、契約に関する紛争の解決方法は含まれていない。
4. 建設業者は、その請け負ったマンションの改修工事を、発注者の書面による承諾を得れば一括して他人に請け負わせることは可能である。

【問題 3 4】 マンション計画修繕工事の工事請負契約及び工事保険に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 大規模修繕かし保険は、国土交通大臣が認可する保険である。
2. 瑕疵担保責任は、法的に定められた請負契約書の必要的記載事項である。
3. 瑕疵担保責任の債務不履行は、損害賠償の対象とはならない。
4. 落雷による損害は、建設工事保険で補償することができる。

【問題 3 5】マンション計画修繕工事の仮設足場に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

1. 移動昇降式足場は、法律で定める仮設足場と同じ取扱いである。
2. 建てわく幅 900mm の標準わく組足場の 1 スパン当りの最大積載荷重は、500 kg 以下である。
3. ビル工事用くさび緊結式足場の最大高さは、60m である。
4. 高さ 5m 以上のわく組足場の壁つなぎ間隔は、垂直方向で 12m 以下である。

【問題 3 6】マンション計画修繕工事における外壁の既存塗膜剥離工事に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 剥離方法の超高压水洗は、躯体を傷める可能性がある方法である。
2. 剥離方法の超音波剥離機の使用は、既存塗膜の付着状態に関係なく施工可能な方法である。
3. 剥離方法のサンダー工法は、粉塵の問題が発生するおそれのある方法である。
4. 剥離方法の剥離剤使用は、既存塗膜との適合性があり、溶解力の強いものでは排水処理の問題も生じる。

【問題37】マンション計画修繕工事における下地補修工事及びタイル補修工事に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. エポキシ樹脂モルタル充てん工法は、コンクリート表面の比較的深い欠損部の改修に適している。
2. コンクリート表面のひび割れ幅が0.2mm～1.0mmのひび割れ部には、エポキシ樹脂注入工法又はUカットシール充てん工法を選択する。
3. 先付け工法のコンクリートとタイル界面の浮きには、アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法が適している。
4. タイル部分張替え工法において比較的張り代が厚い場合は、ポリマーセメントモルタルを用いて張り付ける。

【問題38】マンション計画修繕工事における塗装工事に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

1. 外壁塗装工事の足場計画では、被塗装面との距離を20cm程度とした。
2. 外壁吹付タイルの既存塗膜の付着力が $0.5\text{N}/\text{mm}^2$ だったので、改修塗材の塗り重ねを行った。
3. 塗膜の白亜化という劣化現象は、色調が変化することである。
4. 管理組合と塗り見本板で色彩決定を行う時は、日中の屋外とした。

【問題39】マンション計画修繕工事において屋上防水の劣化状況を調査する場合の次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. パラペットの天端は、ひび割れが発生しやすい場所であるが、このひび割れが下階への漏水事故につながることはない。
2. 防水層立上りの端部押え金物のシーリング材の劣化が、下階への漏水につながる場合もある。
3. アスファルト防水保護コンクリート押え工法の場合、表層部分から下階の漏水事故の原因を特定することは、困難である。
4. 排水ドレン金物と防水層の接続部分は、接合幅や接着状態などに注意して、調査する。

【問題40】マンションの建築改良工事に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. バリアフリー工事で、階段室に手すりを設ける場合、建築基準法の緩和規定で手すりがないものとしてみなされる出幅は10cm以下である。
2. 共用玄関に設置するスロープの勾配は、住宅品質確保促進法に適合するためには1/2分の1以下とする。
3. 建具改修工法のカバー工法とは、既存の枠に新規の枠をかぶせる工法であり、工期の短縮が図れる。
4. 建具改修工法の撤去引抜き工法は、撤去はつり工法に比べて騒音・振動の害が大きい工法である。

【問題 4 1】マンション計画修繕工事の給排水設備に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 加圧給水方式は、ポンプの騒音、振動の対策を必要とする方式である。
2. 高置水槽方式は、給水管水圧の変動が大きい方式である。
3. 屋内受水槽の更新工事においては、水槽周囲の点検スペースを確保する必要があるが、上部の点検スペースは、100cm 以上必要である。
4. トラップは、臭気の逆流や害虫の侵入を防ぐために主として排水口の直後に設置する。

【問題 4 2】マンションの情報通信設備に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. マンションのテレビ共同受信システムには、屋上に設置したUHF、BS、CS等のアンテナで受信する方式とCATV網で受信する方式がある。
2. 各住戸のテレビ端子への配線は、最近では直列ユニット方式が主流である。
3. マンションの電話配線は、電話局から引き込まれ、住棟内MDF（主配線盤）からIDF（中間配線盤）を経由するのが一般的である。
4. 地上波デジタル放送の特徴は、高画質で高音質のサービスの提供やインターネットとの組み合わせによる双方向通信である。

【問題 4 3】マンションの消防用設備改修工事において、甲種消防設備士の資格で行えない工事は次の記述のうち、どれか。

1. 屋内消火栓設備
2. 不活性ガス消火設備
3. 金属製避難はしご
4. 誘導灯

【問題 4 4】マンション計画修繕工事の設備工事に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. エレベーターの昇降路内には、改良工事における光ファイバーケーブルの設置はできない。
2. ガス湯沸器の設置工事には、国が定めたガス消費機器設置工事監督者の資格が必要である。
3. 乗用エレベーターの最大定員は、1人当たりの体重を 65kg として計算する。
4. 連結送水管は、あらかじめ建物内に配管しておき、消防ポンプ車から注水して、消火活動を行う消火設備である。

【問題45】マンション計画修繕工事における居住者対応に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 同一住戸の施工においては、バルコニー側と廊下側を同時に行うように計画する。
2. バルコニーは共用部分であるが、バルコニーに設置のエアコン室外機の移動費は、原則個人負担である。
3. 居住者の各種使用制限については、作業日報に居住者への配慮事項として記載する。
4. 請負業者が行う住民説明会は、着工の2～3週間前までに開催するのが望ましい。

【問題 4 6】 コンクリートの中性化に関する次の設問に対して簡潔に解答欄に記述しなさい。

(複数の解答が考えられる場合でも、解答欄には一の記述とする)

1. 中性化の進行速度を促進させると考えられる新築時の施工要因
2. 竣工後のマンションにおいて中性化を進行させると考えられる外的要因
3. 中性化の進行により想定されるコンクリートの劣化現象
4. 中性化の進行を抑止する補修工事
5. 中性化したコンクリートを回復する工法

解答欄

1.
2.
3.
4.
5.

【問題 4 7】既存のマンションにおいて石綿材の用途は多岐にわたっているが、石綿含有非飛散性の建材として使用されていると推測される部位及び建材を5つ解答欄に記述しなさい。

解答欄

1.
2.
3.
4.
5.

2023年度マンション改修施工管理技術者試験択一式試験解答

問 1	2	問26	3
問 2	2	問27	2
問 3	3	問28	1
問 4	4	問29	4
問 5	1	問30	3
問 6	2	問31	1
問 7	3	問32	3
問 8	1	問33	3
問 9	4	問34	3
問10	3	問35	1
問11	2	問36	2
問12	2	問37	3
問13	2	問38	4
問14	4	問39	1
問15	4	問40	4
問16	3	問41	2
問17	1	問42	2
問18	4	問43	4
問19	1	問44	1
問20	3	問45	1
問21	4		
問22	4		
問23	1		
問24	3		
問25	1		

2023年度マンション改修施工管理技術者試験 記述式試験解答例

【問題46】

【解答例】

1. ①水セメント比 ②スランプ値 ③混和材（剤）の選定 ④空気量
2. ①経過年数 ②二酸化炭素 ③温度 ④湿度
3. ①鉄筋腐食 ②コンクリートひび割れ ③コンクリート爆裂・欠損
4. ①コンクリート劣化部表面処理（研り、ケレン） ②コンクリート表面被覆
③コンクリート表面アルカリ含浸材塗布 ④コンクリート断面修復
5. ①コンクリート表面浸透性アルカリ付与材塗布工法
②コンクリート表面アルカリ性溶液電気浸透工法
③亜硝酸リチウム内部圧入工法

【問題47】

【解答例】

- ・別棟屋根用スレートボード
- ・床用ビニルタイル
- ・ロックウール天井吸音板
- ・バルコニー隔て板スレートボード
- ・耐火区画用スレートボード
- ・設備配管用保温材
- ・設備耐火配管材